

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

かもしか年中児クラス便り

令和5年8月22日（火）

文責：山神 寿江

毎日の暑さにも負けずに元気な子どもたちです。毎日水筒の準備ありがとうございます。まだまだ暑い日が続きます。元気にこの暑さを乗り越えられるように、栄養ある食事、十分な睡眠に引き続きご協力よろしくお願ひします。なにかおうちで気になる点などありましたらお知らせください。

クッキング～経験で確かな知恵に！



毎月クッキングがあります。今月はクッキングの様子をお伝えします。

クッキングでは、年間計画を立て、その月に旬のもの、畑で収穫できたもの、クッキングでの工程が重ならないように計画を立てています。先月は『中華風そうめん』、今月は『お盆団子』でした。

今月の『お盆団子』は8月のお盆で食べるお団子を作る、そして粉の変化、ゆでる実験でした。今回の団子では、1つは水と白玉粉、1つは絹豆腐と白玉粉で作りました。まずあんこを作ります。前日に洗い、ポットにつけていたあずきをざるに出してみると「あんこの匂いがする」「色(汁)がチョコレート見たい」などと気づいたことをそれぞれ口に伝えてくれます。あんこを練りながら、キビ砂糖、ざらめ、塩の味見。「うわ、しょっぱい」「あまい」と普段使用している調味料の味見もしました。味見が大好きな子どもたち(笑)。「かもしかさんだけの特別だよ」などと声をかけ味見をすると特別感から子どもたちのやる気も一気にアップします。あんこを練りながら、次は団子の生地を作っていきます。「大きな団子になってきた」「なんかにおいがするね」「こっち(豆腐入り)のはなんか黄色いのにこっち(水のみ使用)のは、白いね」「色が違う」などと実際に見ることで変化にも気づきます。団子では大小様々なかわいい団子がたくさんできました。できただんごをゆでていくと団子がどんどん上に浮いてくるのを発見した子どもたち。「団子が上がってきてる」「ぼこぼこなってるね」「花火みたい」と子どもたちならではの感性・表現方法に癒されます。そのままできあがった2種類の団子を比べ。

「こっち(豆腐入り)の方がもちもちしてる」「おいしい」「おかわりある？」と嬉しそうに食べる子どもたちの姿に嬉しく思います。また次の日お帳面にて「夜ごはんの後にお盆団子を作りました」「レシピ教えてください」と子どもたちがクッキングの様子を話したことを書かれていてうれしく思うことです。ピーラーや包丁、火を使うので危険性も多いです。しかし自分たちですることによって発見や気づき、学びも多いです。しっかりと危険性を伝えながらも、子どもたちが経験する中で確かな知恵となるようなクッキングであるように努めていきたいです。来月は『たこ焼き』の予定です。たこをまるまる一匹購入し、タコの生態を知る、ホットプレート(タコ焼き機)と南部鉄筋との違いなどを経験していきたいです。クッキングの週は早めに「エプロン・三角巾・マスク」「爪をきってきてください」と伝えていきます。聞いたことを理解、伝える経験をつんでいきたいので、お子さんが伝えてきた場合は確認をお願いいたします。



<おしらせ・お願い>

- ・週末に靴を持ち帰ります。靴を入れる袋を持たせてください。
- ・暑さも増し股付サンダルで登園してくる子ども達も増えました。日中の活動や係活動の中で靴を履くことがありますので、必ず置き靴を持たせてください。
- ・毎日フェイスタオルは持ち帰ります。次の日にフェイスタオルを持たせてください。
- ・水着は毎週末に持ち帰ります。



☆今月の

子どもたちの様子☆

草取りや係活動、暑さに負
けずに頑張っています！



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵 解決 責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-2927) 横峯 友里子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)